

災害のない平穏な1年を願い

～平成29年にかほ市消防出初式～

1月5日、金浦体育館で平成29年にかほ市消防出初式が行われ、消防団員、消防署員、そして地域関係者など約420人が参加しました。

式では、佐々木伸一消防団長が昨年の当市の火災発生状況にふれ「消防団として地域住民の生命や財産を守るため、今まで以上に自治会や市民の皆さまとの協力・連携が必要」と訓示。また、消防活動に功績のあった19団体・130人に勤続表彰や功労表彰などが贈られました。

式の最後には、纏振り振興会28人により、災害のない平穏な1年を願う見事な纏振りが披露されました。



勇壮と並ぶ纏と、纏振り振興会の皆さん

異国の音色を楽しむ

～第39回「子どものつどい」～

1月6日、仁賀保公民館を会場に、第39回「子どものつどい」が開催され、平沢小学校と院内小学校の1年生から4年生までの児童94人と市民ら45人が参加しました。昔ながらの遊び体験会のほか、市内在住の音楽家2人による中国の伝統的な楽器二胡の演奏会が開かれました。演奏会では、二胡の代表的な楽曲やジブリ映画の主題歌などが演奏され、児童らの興味深く熱心に聞き入る姿や、演奏に合わせ手を叩き一緒に歌う姿などが見られるなど、普段目にする事の無い異国の楽器が奏でる音色を楽しむ機会になりました。



上段 左：横山祥子さん（二胡）、右：横山記代さん（エレクトーン）

権現（ごんげん）様が練り歩く

～御頭巡行／院内～

1月7日、院内集落にて「御頭巡行」が行われ同地域の家内安全や子孫繁栄などが祈願されました。これは権現様と崇められる七高神社の獅子頭を氏子らが抱え、獅子幕内には子どもたちが大勢入り練り歩く伝統行事です。

この日はあいにくの雨となったものの、参加者らは大声で「お～！お～！」と叫びながら巡行。その声が家の中まで聞こえたのか、次々と住民らが出てきては権現様に手を合わせていました。この権現様は、顎の内側に明暦3年（1657年）の銘文が記されており、平成3年に県有形民俗文化財に指定されたとても古い御頭です。



獅子幕内には子どもたちが大勢入っています。



成人証書を授与される 伊藤有美さん



新成人誓いのことばを述べる 阿部侑奈さん

1月8日、スマイルを会場に「にかほ市成人式」が挙行されました。穏やかな空模様だった元日のように、この日も快晴となり、艶やかな振袖に身を包んだ新成人を雪化粧した鳥海山が顔を出し祝福してくれました。

午後1時、受け付けが始まると、新成人が続々と会場に到着。初めは緊張した面持ちながらも、旧友と顔を合わせると自然と笑みがこぼれ、再会を懐かしむ姿があちらこちらで見られました。

午後2時、新成人258人の成人式が始まり、代表の伊藤有美さん（前川）に横山市長から成人証書と記念品が贈られました。新成人誓いのことばでは、阿部侑奈さん（室沢）が「今まで支えてくれた両親や先生方、地域の皆さまに感謝するとともに、人生の節目で大人の責任を感じます」と述べました。

そして、新成人へのビデオメッセージでは中学校時代の恩師が登場。変わらぬ姿で思い出話が語られると、会場には大きな笑い声と明るい笑顔があふれていました。



友と恩師と、笑顔があふれる成人式

新成人の声

新成人にインタビュー！
私たちの今とこれから

更なる自覚で

立派な大人になる

阿部 愁さん／杉山



高校を卒業し自動車メーカーで働く日々を送っています。さまざまな知識や経験が求められ大変ではありますが、その分、充実した毎日を送っています。まだまだ1人前ではありませんが、成人を迎えたこともあり、これまで以上に社会人としての自覚を持ち、立派な大人になりたいと思います。

大好きな故郷に

貢献できるように

齊藤亜希さん／前川



高校を卒業後、お隣の山形県にある山形大学に身を置いています。大学では人文学部で公共政策を専攻していて、社会学を学んでいます。大学生活はまだ2年ありますが、将来は地元に戻って大学で学んだことを活かしながら、大好きな故郷にかほ市に貢献できるよう頑張りたいです。

にかほ市の農業を

発展させるために

櫻山翔太さん／大森



現在は、秋田市に一人暮らしをしていて農業試験場に通っています。専業農家である実家を継ぐために高校を卒業してから農業の勉強をしています。今年4月からは地元に戻って本格的に農業をスタートします。将来、にかほ市の農業を発展させることができるように貢献していきたいと思っています。